

第141回 国際母子カンファレンス

リトリートカンファレンス

「世界の子宮頸がん対策の潮流とカンボジアでの取り組み」

日時：2018年10月10日（水）18：30-20：00

場所：国立国際医療研究センター

国際医療協力研修センター棟 5階 大会議室

講師：藤田則子（国際医療協力局 連携協力部長）

神田未和（国際医療協力局 助産師）

赤羽宏基（国際医療協力局 国際臨床フェロー）

世界における子宮頸がんの新規罹患患者数は年間53万人、死亡者数は年間27万人と推定されています（2012年、WHO）。新規罹患患者の85%、死亡者の90%がそれぞれ低中所得国で発生しており、カンボジアにおける女性のがんによる疾病負担の中で、子宮頸がんは最も多い状況です。講演では、子宮頸がんに対する世界の潮流とカンボジアでの取り組みを中心にお話します。

内容：

—世界の子宮頸がん対策の潮流、カンボジアでの技術協力活動について
(藤田部長)

—健康教育・子宮頸がん検診について（神田助産師）

—子宮頸がんの予防と早期治療、病理診断について（赤羽医師）

—国際臨床フェロープログラムの紹介（赤羽医師）

主催：国際母子タスクフォース（協賛：医薬会）